

環境調査結果のお知らせ

平成27年8月6日午前10時から野見・須崎湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は、水温25～28℃、塩分29～32、溶存酸素量6～8mg/lでした。
透明度は4～5mで、有害種のカレニア・ミキモイ、ヘテロシグマ・アカシオが確認されました。

水温と塩分(表1・2)

水温24.7～28.4℃、塩分28.6～32.0でした。
前回調査時(H27.7.30)と比較して、水温は全層で0.3～1.2℃上昇しました。塩分は全層で0.4～3.3上昇しました。

溶存酸素量(表3)

溶存酸素量6.0～7.5mg/lでした。
前回調査時と比較して溶存酸素量は表層から5m層で0.1～0.2mg/l増加しました。

プランクトン(表4・5)

透明度は4.3～5.3mでした。
検鏡の結果、有害種のカレニア・ミキモイが最高で1,575cells/ml、ヘテロシグマ・アカシオが最高で1,800cells/ml確認されました。シャットネラ属は確認されませんでした。
なお、カレニアについては本日の漁業者持込サンプルで7,000cells/mlを確認した海域があります。
今後も慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、中央漁業指導所か水産試験場まで連絡してください。



表1 水温(°C)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H27.7.30)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	28.4	28.3	28.1	27.7	28.3	27.4	0.9	27.8
2m	27.9	27.9	28.0	27.5	27.9	27.2	0.7	27.5
5m	26.5	27.0	27.1	27.1	26.9	26.6	0.3	27.0
10m	25.6	26.4	26.9	26.4	26.3	25.1	1.2	—
B-1m	25.3	24.7	26.1	25.5	25.4	24.5	0.9	26.7

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H27.7.30)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	30.3	30.4	30.6	28.6	30.4	27.1	3.3	28.0
2m	30.6	30.7	30.7	30.4	30.7	27.6	3.1	29.6
5m	31.2	31.1	31.1	30.9	31.1	28.4	2.7	30.7
10m	31.8	31.3	31.2	31.1	31.4	30.7	0.7	—
B-1m	31.9	32.0	31.6	31.8	31.8	31.4	0.4	30.9

表3 溶存酸素量(mg/l)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H27.7.30)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	7.0	7.0	6.9	7.5	7.0	6.9	0.1	7.8
2m	7.2	7.1	6.8	7.5	7.0	6.8	0.2	7.5
5m	7.5	7.3	6.2	7.4	7.0	6.8	0.2	7.4
10m	6.2	6.4	6.4	7.2	6.4	6.4	0.0	—
B-1m	6.4	6.4	6.2	6.0	6.3	6.3	0.0	6.8

※湾奥ブイ・馬の背・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	市場前
水深	17.7	23.9	16.8	16.3	7.7
透明度	5.2	4.3	5.3	4.5	4.1
前回(7/30)	7.5	7.2	7.5	4.7	4.3

表5 プランクトン(cells/ml)

		カレニア・ ミキモトイ	ヘテロシグ マ・アカシオ	シャットネラ属	珪藻類			
湾奥ブイ	0m	0	0	0	250			
	2m	1	20	0	350			
	5m	0	20	0	120			
馬の背	0m	0	0	0	750			
	2m	0	20	0	700			
	5m	780	50	0	250			
ガラク	0m	1	10	0	650			
	2m	0	30	0	650			
	5m	57	0	0	60			
津波防波堤 内側	0m	0	170	0	650			
	2m	0	230	0	450			
	5m	19	10	0	700			
市場前	0m	0	1,800	0	350			
	2m	0	11	0	200			
	5m	1,575	0	0	400			